

1. 生育状況

播種は、4月下旬～5月上旬に実施され、出芽は概ね良好です。

苗立数は目標本数(40本/m²)が確保され、分けつの発生も多くなってきました。

◆◆◆ 直播生育調査結果(6月7日調査) ◆◆◆

地区	草丈(cm)	苗立数(本/m ²)	茎数(本/m ²)	茎数(本/m)	中干し開始目安(4月下旬播種)
徳光	25	63	168	51	6月12日～14日頃

2. 今後の管理について

(1) 中干しの実施

開始目安: 1mあたり茎数80～90本(㎡あたり茎数280本程度)
終了目安: 7月10日頃

中干し程度



- ① 6月8日～6月18日の期間は、
茎数が1日に 1mあたり4～7本増加すると予測されます。
- ② 生育が順調なほ場ではすでに中干し開始適期になっています！！
(茎数は、播種時期や圃場条件によって増加量に差があります)
- ③ 中干し程度は、田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつくまでとします。
- ④ 大きな亀裂が生じるほど長期間の落水を行うと、根が切断されるので注意してください。

(2) 溝切りの実施

向こう側の畔が見えるうちに溝を切り、
溝と溝は連結してください。

1～2日前に落水し、土壌をある程度硬くしてから、
溝切り作業直前に浅く湛水して行うと
作業がやり易くなります。

溝の連結



溝を連結する

(3) 病害虫防除

葉いもちの発生は稲の生育ステージには関係なく、温度や湿度等の気象条件により発生するので、
遅れないように散布してください。

薬剤名	使用時期	対象病害虫	使用量
オリゼメート1キロ粒剤	6月中旬	葉いもち	1kg/10a
パダンオリゼメート粒剤	6月中旬	葉いもち、ニカメイチュウ、イネツトムシ	3kg/10a

※粒剤は湛水状態で散布し、7日間は落水しない。

(4)ケイ酸質資材の施用

根張り促進・根の健全化・活力維持のため、
6月下旬に「けい酸加里プレミア」を30～40kg/10a 施用してください。

(5)雑草対策

薬剤名	草種	使用時期	使用量
ヒエグリーン 1キロ粒剤	ビエ4葉	イネ3葉期～ビエ4葉期 (ただし収穫 45 日前まで)	1kg/10a
クリンチャー 1キロ粒剤	ビエ3葉	播種後 10 日～ビエ3葉まで (ただし収穫 30 日前まで)	1kg/10a
	ビエ3～4葉	播種後 25 日～ビエ4葉まで (ただし収穫 30 日前まで)	1.5kg/10a
クリンチャーEW (展着剤を加用)	ビエ5葉	播種後 10 日～ビエ5葉まで (ただし収穫 30 日前まで) ※雑草茎葉散布	100mL/10a (希釈水量 25～100L)
サンパンチ 1キロ粒剤	ビエ 3.5 葉 マツハイ、ホタルイ	イネ3葉期～ビエ3.5葉期まで (ただし収穫 60 日前まで)	1kg/10a
バサグラン液剤	水田一年生雑草 (イネ科を除く)	播種後 35 日～50 日まで (ただし収穫 50 日前まで) ※落水散布	500～700mL/10a (希釈水量 70～100L)
バサグラン粒剤	水田一年生雑草 (イネ科を除く)	イネ3葉期～入水 50 日後 (ただし収穫 60 日前まで) ※落水散布	3kg/10a
ワイドアタックSC	ビエ・広葉雑草	イネ3葉期～ビエ5葉まで (ただし収穫 30 日前まで) ※落水散布	100mL/10a (希釈水量 100L)
クリンチャーバス ME液剤	ビエ・広葉雑草	播種後 10 日～ビエ5葉まで (ただし収穫 50 日前まで) ※落水して雑草茎葉散布	1000mL/10a (希釈水量 70～100L)

※ 除草剤などの農薬を使用する際は、ラベルをよく読み使用方法を必ず守ってください。

(6)カメムシ密度の低減

○斑点米の発生原因となるカメムシの生息数は、年々増加しています。

○6月中はカメムシ類の生息地となる畦畔や水田周辺の雑草地の除草を徹底して下さい。

○除草は7月10日までとし、その後は原則として収穫時期まで除草は行わない。

やむをえず雑草処理をする場合は、基幹防除直前に行ってください。

○水田畦畔や用水路の法面等で刈り倒した雑草は河川に流さない、流れ込まないように注意してください。

☆直播についてのお問い合わせは、
各JAの営農担当者、または
石川農林総合事務所農業振興部
TEL：076-276-0371まで



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ